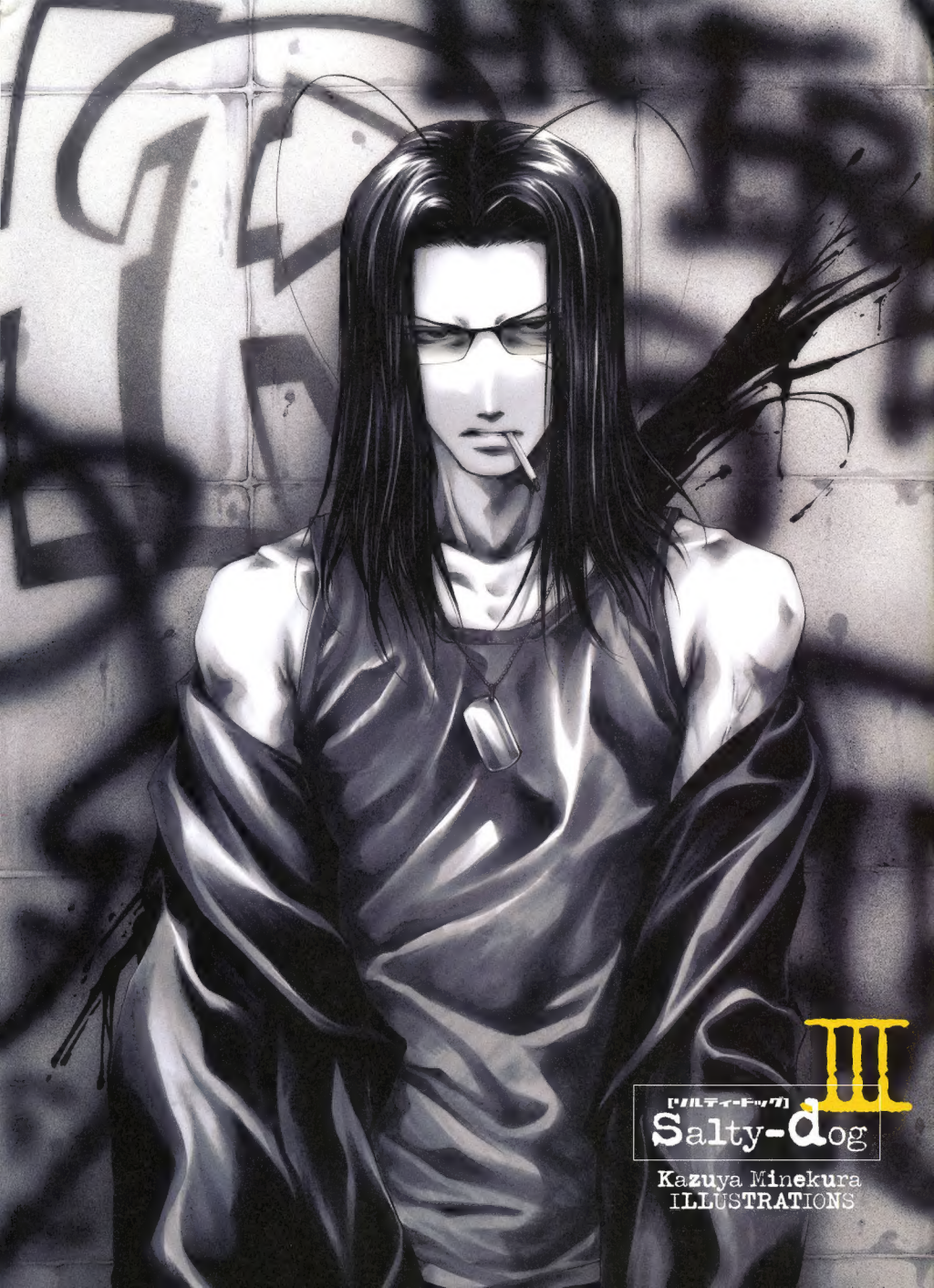
Kazuya Minekura ILLUSTRATIONS

峰倉かずや画集

salty-dog Ⅲ

ソルティードッグ


III
[ソルティードッグ]
Salty-dog
Kazuya Minekura
ILLUSTRATIONS

Son Goku

Cho Hakkai

Sha Gojyo

Genjyo Sanzo

君に勧む金屋庵
満酌　辞するを須いず
花発いて　風雨多く
人生　別離たる

The world begins to go crazy. You can't take your eyes off them.

SON GOKU

SHADOWO

SAIYUKI RELOAD

SAYUKI RELOAD

Bonds are insufficient at all in the banal remark.

イラスト解説

Comment

月刊コミックZERO-SUM2003年5・7月号センターカラー *P016-017*

時間がなくて、モノクロでパパッと描いたキャラに、苦肉の策で思い切ったCG加工を加えてみたら、案外お気に入りになったというイラスト。お蔭様で評判も良く、こういうCGの使い方も有りなんだなと勉強になりました。たまにやるからいいんでしょうね。

描き下ろし *P001*

このシリーズの背景、一番似合うのはやはりこの男でしたね～。珍しくグラサンなぞかけてみましたが、グラサンの色だけ後からCGで乗せたので、原画は色無しの眼鏡。似合わねーな眼鏡ﾒ(笑)ってカンジでした。久々に縦置きのイラストをB3サイズで描いたので、やっぱり机に乗らなくて苦戦。 BBケント紙にコピック彩色。覆い被さるような体勢で描いてたら、エアブラシの霧を吸い込みすぎて鼻水が真っ黒です。ちょっとヤらしいラクガキも入れたんですが、カバーなのであんまり見えない位置にしました…(笑)。

月刊コミックZERO-SUM2003年5月号表紙・裏表紙 *P018-019*

創刊2周年記念号、雑誌の表紙と裏表紙を両方描かせて頂けるという事で、鏡のように対称の構図。なかなか出来ない企画なので楽しく描きました。こうやって見ると悟空ってあんま成長してないような…(笑)。BBケントにコピック彩色、バックはCG加工。

月刊コミックZERO-SUM2004年5月号応募者全員サービス *P002-005*

図書カード版のデザインでは、かなりドアップめにトリミングしてみたのですが、今回絵の全体が見えるサイズまで引いて掲載しました。アニメのEDのサビの部分にパパーンと使って頂いていた絵なので、そちらのインパクトが強い方が多いみたいです。BBケントにコピック彩色、CGにて白被せたりボカシたりと加工。

2003年最遊記オフロード表紙 *P020*

この本の表紙はシェルリン・プレーンと決まっていたので、それに似合う絵を描こうというイメージからこんなイラストに。シンプルだけど構図が綺麗にまとまった方だと思います。斉天大聖は華やかで楽しいですね。BBケントにコピック彩色、CG加工。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』1～4巻カバーイラスト *P006-013*

この四枚は、どれも作画に結構時間がかかりました。バックの花はキャラのイメージというわけではなく、服の色に合わせたカンジですね。ポピーの“毛”とか、描いててとても楽しかったのを憶えてます。原画サイズは各B3、BBケント紙にコピック彩色。どこを見ても野郎ばっかの表紙なので、これで少しは華やかになったでしょうか…。関係ないけど、こーゆー普通のイラストで三蔵がハリセン持ってるのってよくよく見ると変ですね。無意識でした。

月刊コミックZERO-SUM増刊WARD vol.1表紙 *P021*

久々に冠被った三蔵様。「威厳」「荘厳」「ガラの悪さ」そんな物をひっくるめた“玄奘三蔵法師”を描こう！がコンセプトの絵。駅貼りサイズのドでかいポスターにして頂いて、なかなかの迫力でした。BBケントにコピック彩色、羽根はCGで増殖(笑)。

月刊コミックZERO-SUM2003年3月号巻頭カラー *P022-023*

悟空VS紅孩児、まるで少年漫画のような扉絵(笑)。漫画の中ではちょうど洗脳された「白紅孩児」が暴れてたんだけど、やっぱり紅孩児は黒服でキリリとしてなくちゃ。早く元に戻ってね、という気持ちで描きました。BBケントにコピック彩色、CG加工。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』4巻描き下ろし *P024*

これは自分的にいい雰囲気でおどろおどろしく描けた気がしている絵です。鉛筆ラフのコピーにコピックで彩色、バックはわざとコピックの塗ムラを荒々しく残して、最後にCG加工で色味をいじったりボカシかけたりしました。清一色はたまに描きたくなりますね。

月刊コミックZERO-SUM2003年4月号表紙 *P014*

悟浄、初の雑誌ピン表紙。本の縁と縁をぐわっと開いたイメージに見えるといいな、と思ってこんなポーズです。服装が昔のロッカーのようですね。世良っぽい…(笑)。BBケントにコピック彩色。シャツとバンダナの柄だけCGで足しました。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』2巻描き下ろし *P025*

六道…否、朱決の悲愴感を描きたかった。これは彼が金山寺を去る時のイメージです。視線の先には燃え落ちた本堂、肩には江流の数珠を下げ、雨の冷たさでようやく自我を繋ぎ止めてるカンジ。鉛筆ラフのコピーにコピック彩色、雨の加工はCGで足しました。

月刊コミックZERO-SUM2003年7月号表紙 *P015*

八戒、初のピン表紙。八戒ひとりだとどうしても、表情もポーズも大人しくなるので、羽ばたく鳥を入れてなんとか動きを出そうと試みております。画面には写ってないけど海のイメージかな。爽やかさん…。BBケントにコピック、空だけCGで彩色。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』1巻描き下ろし P026-029

御覧の通り、それぞれ一部づつ画像がブレてます。こーゆーのはホントCGだからこそ出来る遊びだなぁと思います。でも塗りは全部コピック。線画は鉛筆画のコピーですね。何故かこーゆーセットの絵だと悟浄は引き気味なショットになる事が多い気が。

月刊コミックZERO-SUM2002年11月号応募者全員サービス P044

カレンダーの1月が担当だったので、めでたいカッコさせてみた物です。こーゆー衣装は描いてて楽しいですね。冠の羽根は、ホントはもっとビヨ〜ンと長い筈のものですが、正方形のサイズに収めなきゃいけなかったので短くしちゃいました…。全てCG彩色。

2004年一賽舎年賀状描き下ろし P045

猿年という事で、悟空の年賀状イラスト。とにかく食わせました。ベタな構図でアレなんですけど、お節が楽しく描けたのでヨシとします。鉛筆画にフルCG彩色なのですが、煮物あたりはかなり気合い入れて塗りました。美味しそうに見えるとよいなぁ。

月刊コミックZERO-SUM2003年5月号応募者全員サービス P030

テレカの絵で、横長の構図だったのですが、今回掲載用に縦で置き直してみました。鉛筆画にコピック彩色、バックはCGで足してあります。キャラの絵自体も少し彩度を下げてみました。こーゆー絵を描くと彼等の行く末を暗示しているように見えますね、やはり。

2003年コミックマーケット・等身大スタンドPOP P046-047

等身大のPOPになるという初めての出来事に大層とまどいながら描いた絵です。取込んだ線画をまずかなり綺麗にゴミとかハミ出しとか取り除いて、それがかなり時間かかりましたね。なんせB4サイズの元絵が、等身大まで引き延ばされる事を思うと…。実際、4体並んでるのを見たら壮観でした。今回、4人並べたバージョンに合成して掲載。フルCG彩色。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』2巻描き下ろし P031

これ実は原画はけっこーでかいサイズで、描いてた時は迫力あったのに、掲載サイズが小さかったのでまったく意味無し。廃虚の写真とか参考にしたのに最終的に全然違うイメージに…てゆーかどう見てもただの迷子ですよこの人達。鉛筆画にコピック彩色、CG加工。

月刊コミックZERO-SUM2003年12月号センターカラー P048

漫画が「三蔵一行旅立ち1周年記念飲み会」という話だったので、そのまんまのイラストにしました。4人バラバラに描いた絵を切り抜いてCGにて合成。薄暗い飲み屋で、ショボいカメラでパチパチと撮影したっぽい「安さ」が出したかったのですが、どーでしょ。

月刊コミックZERO-SUM2003年11月号表紙 P032

アニメスタート時期の雑誌の表紙という事で、なんかインパクトある物にしようと思ったら読者さんに向かって舌出すなんて今考えるととっても失礼な絵にしてしまいました。でも迷い無くつるりと描けて楽しかったイラストです。BBケントにコピック彩色。

月刊コミックZERO-SUM2004年2月号表紙 P049

走ってるジープの絵はまだ無かったな〜と思いつきで描いた物ですが、4人がうまくフレーム内に収まらなくて、ラフで大苦戦した絵です(雑誌の表紙なので、画面上にロゴの部分空けないといけなかったから)。BBケントにコピック彩色、ちょろっとCG加工。

月刊コミックZERO-SUM2003年5月号応募者全員サービス P033

時間がなかった…なんて言い訳にもなりませんが、あまりに猛スピードで描いた為、漫画の絵と表の絵の境界線が曖昧になっています(汗)。誰だこりゃ。すみません。コピー用紙にコピック彩色、CG加工を大幅にプラス。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』5巻描き下ろし P050

思いのほか好評だった、なんだか残酷なイラスト。「困ったように、笑うひとでした」「…お前もだろ」「え？」そんな八戒と悟浄の会話を、ふと想像しながら描きました。鉛筆ラフにコピック彩色、CG加工。

PS2版『最遊記RELOAD』COMPLETE GUIDE 表紙 P034

ゲームの攻略本の表紙なんて初めてで、どんな物を描いたらいいのやら、と思ってたらなんだか三蔵、悪のラスボスみたいです。下の三人はヒーロー構図です。変な迷いが形になりました(笑)。鉛筆画にCGで彩色。色の塗りにすら迷いが見える…。

月刊コミックZERO-SUM2004年6月号センターカラー P051

鳥哭、というより健色かな？　お気に入りのキャラなので大層楽しく描きました。スネ毛とか、スネ毛とか(笑)。BBケントにコピック彩色、CGで上から真っ赤なサイバーっぽい加工を被せて、黒い羽根を散らしました。着物で寝転がるのはヤらしいと思うの。

月刊コミックZERO-SUM2003年9月号表紙 P035

これはかなりお気に入りのイラストです。風を少しうざったそうにしている三蔵と、悟浄のなびいた髪の毛が特に満足。音楽の影響受けて描いた絵です。空気というか雰囲気、決意みたいな物が伝われば嬉しいな。BBケントにコピック彩色、CGで色調整。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』9巻カバーイラスト P052-053

これは何故か評判の良かったカバーイラストです。新装版のカバーは全部B3サイズで、これを毎月描くのはとても…正直苦しかったので(笑)、「この巻でラストだ〜」という感慨深さだけが印象として残っております。BBケントにコピック彩色、バックのみCG。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』5〜8巻カバーイラスト P036-043

新装版最遊記のカバーシリーズ後半、ロング絵(コスチューム)とアップ絵(スーツ)を別々に描いてCGで合成しました。この頃になると、最遊記RELOADの新コスチュームを描き慣れてきてしまっていて、ついうっかり新コスチュームでラフを描いちゃったりしました。どのキャラも全身入れるのに必死のポーズを取らせているのが笑えます。あんまりカメラ引くと顔ちっちゃくなっちゃうから。BBケントにコピック彩色、CG加工。

ZERO-SUMコミックス『最遊記RELOAD』1・2巻表紙　P.070-071

リロードのコミックス表紙は、必ず4人で、戦闘コスチュームと私服を交互にしようというコンセプトですね。絶対後々アングルに困るやり方だとは解ってるんですけど…(笑)。BBケントにコピック彩色。バックはCGで色乗せてます。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』8巻描き下ろし　P.072

この画集、カミサマ多いなあ〜。でもこういう衣装着せたら正直誰だかわかんないね(笑)。レトロな映写機みたいな加工ってどうやればいいんだろ〜とぐるぐるしながら描いたのを憶えてます。フルCG彩色。

月刊アニメージュ2003年11月号表紙　P.073

アニメ雑誌の表紙という物を初めて描かせて頂き、ド緊張でした。アニメっぽくした方がいいのかな？　と思い、いつもより若干線に強弱つけてあります。次の号でこの絵の巨大ポスターまで付録にして頂きました。でも色は地味ですんません。CG彩色。

月刊コミックZERO-SUM2003年4月号巻頭カラー　P.074-075

最遊記シリーズで描いた絵の中でもかなり気に入ってる方だと、自分的には思うイラスト。なんでだろ？　地面の枯葉っぽいのは、久々にガッシュを引っぱり出してきてベタベタと荒々しく塗りました。キャラはすべてコピック彩色、紙はBBケント。CGで少し色味を黄色っぽくして、若干彩度を下げてあります。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』2巻描き下ろし　P.077, 079

特にこれといったコンセプトもなく、ただキャラを置いただけなのですが、アニメのEDに使って頂いて、曲が被った時は何故か雰囲気のある絵に見えたから不思議です(笑)。BBケントにコピック彩色、CG加工。

月刊コミックZERO-SUM2004年5月号表紙　P.080

ラフを描いた時期はけっこう前だったのですが、時期的な理由からしばらくお蔵入りしていたイラスト。パッと見判り辛いですが、ガスマスクなのです。BBケントにコピック彩色、CGでガラス面の光だけ足してあります。

ZERO-SUMコミックス『新装版 最遊記』応募者全員サービス　P.054-055

クリアトレカ用に描き下ろした絵ですが、小品ながらけっこー一気に入ってます。対照的な「主君と従者」ですな。新聞の柄は描き出したら面白くなってきちゃって、変な4コママンガまで描いてしまいました。BBケントにコピック彩色、CG加工。

月刊コミックZERO-SUM2003年9月号巻頭カラー　P.056-057

三蔵の髪の毛を細かく描き始めたら止まらなくなっちゃって、ついうっかりフッサフサにしすぎてしまいました。すぐ調子に乗るんだからこの人。細いスポットライトの中に倒れてるイメージにしたかった絵です。BBケントにコピック彩色、CG加工。

ZERO-SUMコミックス『最遊記RELOAD』1・2巻裏表紙　P.058, 060

リロードになってから、新コスチュームをちゃんと描こうと思って毎巻コミックス裏に全身絵を入れる事にした物。でも2巻ですでに八戒ったら背中向けちゃいましたよ。なんなのさ。BBケントにコピック彩色。

TVアニメ『最遊記RELOAD』オフィシャルガイド vol.1 表紙　P.059

カバーイラストなのに、色鉛筆で塗ってみた初チャレンジのイラスト。ところが周囲の方々に色鉛筆だという事にちっとも気付いてもらえず、ちょっとガックリ。結構時間かけたんですけどね…トホ。BBケント紙に色鉛筆彩色、バックの柄のみCGで合成。

TVアニメ『最遊記RELOAD』オフィシャルガイド vol.2 表紙　P.061

前の巻に続いて色鉛筆画のカバー。前の巻とセットになるように、バックの柄も同じ画像をCG合成しました。画面下はオビがかかるのでちゃんと空けておいたのですが、タイトルを入れる場所がない事にちっとも気付きませんでした。よくやる失敗だけどね。

『最遊記RELOAD』オフィシャルFC会報『RELOAD PRESS』vol.2 描き下ろし　P.062

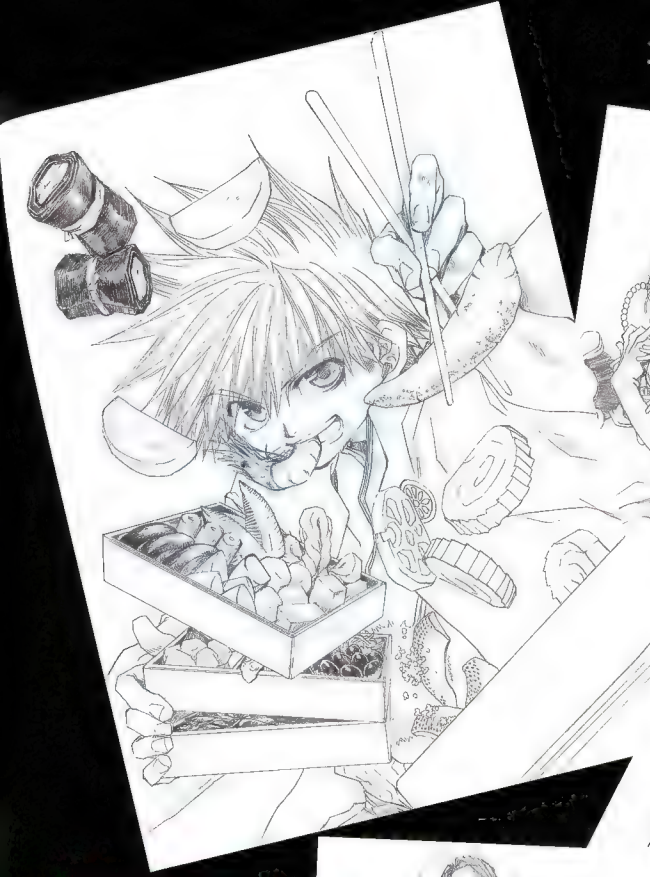
アニメがカミサマ編のあたりだったので、こういうカットになりました。FC会報に掲載された物は、これに「かごめかごめ」の歌詞が被っていました。カミサマは描いてて楽しいなぁホント。鉛筆ラフにコピック彩色、バックはCG加工でプラス。

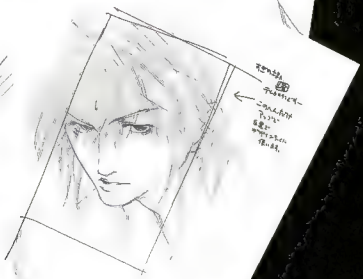
TVアニメ『最遊記RELOAD』DVDパッケージ描き下ろし　P.063-069

リロードのDVDジャケットシリーズは、動きのある物にしようと思いこんなカンジになりました。最初のうちは一枚絵で描いた物を一部ボカしたりスラしたりしていたのですが、悟浄の錫とかちょっと苦戦したので、後半は別版で描いた物を合成してます(カミサマの数珠とか鳥哭のヌイグルミとか)。今回掲載にあたり、バックの加工まで自分で入れてみました。鉛筆画コピーにコピック彩色、CG加工。コピー用紙に塗ると発色よくて肌がちょっと明るい。

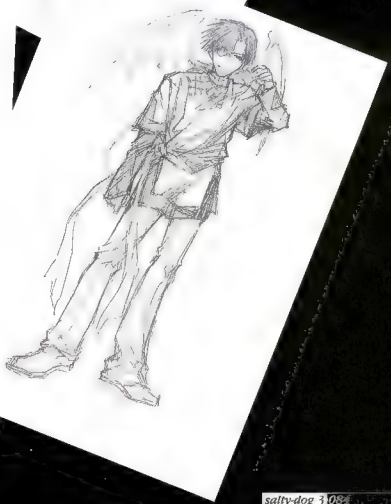
From

ラフスケッチ





GOODS



最遊記 RELOAD
COMICS

COMICS/ Supplementary biography

弔い

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG — HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET

あとがき。

この第三集は、すべて最遊記シリーズのイラストで構成されております。
掲載用の画像をまとめてみてから気付いたのですが、この時期は比較的「私服」よりも「戦闘コスチューム」のイラストを描くお仕事が多かったみたいですね（アニメのムックだとか、DVDのジャケットだとか）。
遊びがきかない分、物足りなく感じられるかもしれませんが、イキオイだけはあると思います（汗）。
：反動で次の画集が私服まみれになっている筈なのでこの際、次巻と対になっている本だと御考え下さいませ（笑）。

SCANNED BY STSG - HTTP://WWW.GENSOMADENSAIYUKI.NET